

職員提案制度の見直しの概要

〈資料2〉

1. 現状

職員提案制度は、職員の業務に対する創意工夫を奨励し、勤労意欲と士気の高揚を図り、業務改善を行うことで市民サービスを増進することを目的に平成18年度から実施

2. 課題の把握・分析

全職員を対象したアンケート調査の実施

- ・実施期間 令和6年10月18日（金）～25日（金）8日間
- ・対象職員 全職員
- ・回答者数 53名

傾向① 職員全体の関心度が低い

Q あなたの所属部は？

回答内容	回答者	割合
総務部	11人	20.8%
建設部	9人	17.0%
教育委員会	7人	13.2%
保健福祉部	6人	11.3%
北上総合支所	4人	7.5%
監査委員事務局	3人	5.7%
市民生活部	3人	5.7%
復興企画部	3人	5.7%
産業部	2人	3.8%
会計管理者	1人	1.9%
議会事務局	1人	1.9%
未回答	3人	5.7%
計	53人	

傾向② 総合支所からの回答が少ない

Q 提案制度を知っているか？

回答内容	回答者	割合
はい	25人	47.2%
いいえ	28人	52.8%
計	53人	

傾向③

職員の半数が制度を知っている

Q 提案をしたことがあるか？

回答内容	回答者	割合
ある	3人	12.0%
ない	22人	88.0%
計	25人	

【提案・採用の状況】

年度	提案件数	採用件数
H18	1件	0件
H19	18件	2件
H20	7件	1件
H21	6件	2件
H27	40件（派遣職員による提案）	対応可能：23件
H28	18件（派遣職員による提案）	対応可能：6件
H29	23件（派遣職員による提案）	対応可能：7件
H30～R5	0件	－

Q あなたの勤続年数は？

勤続年数	回答者	左記のうち制度を知っている	割合
1～5年	8人	2人	25.0%
6～10年	11人	1人	9.1%
11～15年	5人	3人	60.0%
16年以上	29人	19人	65.5%
計	53人	25人	

傾向④

・勤続年数に関係なく認知されている
・5年以下の職員も知っている
・16年以上の職員の認知度が7割未満

Q 職員提案をしなかった理由は？（複数回答可）

回答内容	回答者	割合
良い提案が見つからない	12人	54.5%
提案をすることで他課の業務を増やしてしまう	7人	31.8%
提案を考える時間（余裕）がない	4人	18.2%
提案しても採用されない	4人	18.2%
提案する意欲が沸かない	4人	18.2%
職員提案制度に関心がない	1人	4.5%
その他	6人	27.3%

傾向⑤

「提案が見つからない」、「他課の業務を増やす」の順で多く、
発案の難しさ、提案のしにくさがうかがえる

職員提案制度の見直しの概要

3. 課題の整理

要因1【職員の意欲】

- ・ 提案を考える余裕がない
- ・ 提案しても採用されない

要因2【制度の仕組み】

- ・ 新たな業務を増やしたくない
- ・ 提案しても体制が整わない

要因3【周知不足】

- ・ 制度に関心がない
- ・ 制度そのものを知らない

4. 解決のポイント

要因1【職員の意欲】

- ・ 提案者の負担軽減
- ・ 取組実践への意識醸成

要因2【制度の仕組み】

- ・ 提案された側への配慮
- ・ 実践しやすい制度の確立

要因3【周知不足】

- ・ 制度の認知度向上

5. 対応策

要因1【職員の意欲】

- ・ 表彰制度の確立
- ・ 入賞者へのインセンティブ

要因2【制度の仕組み】

- ・ テーマの限定（企画・改善）
- ・ 提案型から報告型へ

要因3【周知不足】

- ・ 募集期間の設定
- ・ 業務改善強化月間の設定

6. 新たな制度の概要

職員自身又は所属課の業務に関することで、自主的に取り組んだ「業務改善の事例報告」を募集

✎ 報告の対象要件

- ①市民サービスの向上 ②事務の効率又は能率の向上
- ③経費の節減、歳入の増加その他健全な財政運営への寄与
- ④労働環境の改善 等の効果が得られ、又は期待されるもの

✎ 実施期間

業務改善強化月間（8月）と募集期間（10月）を設定

✎ 提案者

1人又は2人以上の共同でも可能

✎ 審査

職員による投票と審査委員会による審査を実施

✎ 表彰等

最優秀賞・優秀賞・奨励賞を設定
最優秀賞の受賞者は人事記録に登載

✎ 今後のスケジュール

R7.1.1	石巻市職員提案制度実施要綱の全部改正
R7.1月上旬	新制度の庁内周知（事前アナウンス）
R7.8月	業務改善強化月間の実施（チラシ・記事発信など）
	新制度の庁内周知（事前アナウンス）
R7.10月	改善報告の事例募集
R7.11月上旬	職員投票（投票期間は10日程度を想定）
R7.11月下旬	審査委員会による審査
R7.12月下旬	表彰者決定
R8.1月	行革本部へ報告
R8.2月上旬	表彰